



ドキュメンタリー映画
「古里：失われた村、ターミナル島」
Furusato: The Lost Village of Terminal Island
(デビット・メツェラー監督、2007年、40分)



写真：ターミナル島の風景(デビット・メツェラー氏提供)

太平洋戦争が始まる前、米国カリフォルニア州サンピードロのターミナル島には、およそ3千人の日系人が住んでいた。男は漁船で、女は缶詰工場で働き、寺、神社、キリスト教会もあり、相撲、柔道、剣道に加えてベースボールも盛んで、正月も、桃の節句も、クリスマスも祝うユニークな日系人コミュニティが形作られていた。しかし日本軍がハワイ真珠湾を攻撃した日から、スパイの疑いをかけられた一世の男たちは、FBI捜査官によって連行され、間もなく女性と子供も島から退去を命じられた。やがてアメリカ西海岸にいたおよそ12万人の日系人とともに、彼らは強制収容所へ入らなければならなくなった。ターミナル島とはいったいどのような場所だったのか。彼ら／彼女らは戦争とどのように向き合ったのか。ターミナル島に暮らした日系人へのインタビューによって構成された本作品は、「失われた村」の記憶を現在に伝える貴重なドキュメンタリーである。

2013年4月2日（火）午後2時～5時
立命館大学 衣笠キャンパス 充光館301教室

第Ⅰ部 櫻井敬人氏(和歌山県太地町歴史資料室学芸員)解説
第Ⅱ部 映画上映(字幕付き、40分)
第Ⅲ部 鼎談:デビット・メツェラー監督×櫻井敬人氏

入場無料

■主催：立命館大学国際言語文化研究所、日本人の国際移動研究会
■共催：立命館大学国際平和ミュージアム
■後援：和歌山県太地町歴史資料室、和歌山県太地町教育委員会、日本移民学会
■お問い合わせ：立命館大学国際言語文化研究所 (075-465-8164)



デビット・メツェラー

ドキュメンタリー映画監督、メツェラー・コンサルタント社長、NPO法人OUR STORIES代表。カリフォルニア大学ロサンゼルス校出身。Ralph Edward ProductionでドキュメンタリーTV番組の製作に従事した後、メディア・コンサルタント会社を起業。それ以前にUCLAアメリカ言語センターのプログラムDiscover LAを担当。その際に北米西海岸の日系人の歴史を知ることになった。NPO法人OUR STORIESを設立し、全米日系人博物館の協力を受けながら、サンペドロのターミナル島で生まれ育った日系二世をインタビューし、ドキュメンタリー映画 *Furusato: The Lost Village of Terminal Island* を2007年に制作。太地町歴史資料室と共同で2011年に日本語字幕版を制作。

櫻井敬人 (さくらい はやと)

三重大学人文学部卒業、名古屋大学大学院人間情報学研究科博士後期課程中退。2000年から米国マサチューセッツ州のケンダル捕鯨博物館でインターン。同博物館がニューベッドフォード捕鯨博物館と合併すると同時にアシスタント・キュレーター。2004年に日米交流150周年を記念する特別展PACIFIC ENCOUNTERS: Manjiro, Yankee Whaling, and the Opening of Japanを担当。2005年にポーツマス歴史協会においてポーツマス条約100周年を記念する特別展Uncommon Commitment to Peace: Portsmouth Peace Treaty of 1905を客員学芸員として担当。2006年から太地町立くじらの博物館で歴史担当学芸員。2010年2月に特別展「最後の刃刺：古式捕鯨の終焉とアメリカ式捕鯨そしてノルウェー式捕鯨の導入」を担当（ニューベッドフォード捕鯨博物館ならびにノルウェーのサンデフィヨルド捕鯨博物館協力）。2010年4月から太地町公民館内に新設された太地町歴史資料室学芸員。2011年12月に企画展「鯨舟：形と意匠」を担当。2006年からニューベッドフォード捕鯨博物館顧問学芸員。論文に「海を越える太地の一世紀」（『歴史と民俗』29号）、「The Whale Town” and the Making of the Taiji Whale Museum (Whaling and History IV. Sandefjord Whaling Museum)など。



写真：ターミナル島の風景(デビット・メツェラー氏提供)

立命館大学 衣笠キャンパス アクセス



交通案内

- JR・近鉄 京都駅より
市バス50にて「立命館大学前」下車
- 阪急電車 西院駅より(急行停車)
市バス205にて「わら天神前」下車
- 阪急電車 烏丸駅より(特急停車)
市バス51・55にて「立命館大学前」下車
- 京阪電車 三条駅より
市バス15・59にて「立命館大学前」下車

※お車でのご来館はご遠慮ください。

立命館大学 衣笠キャンパス
〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

